

## 植物多様性センターの「カラタチのトゲと葉」

武蔵野ゾーン果樹林エリアに、ミカン科のカラタチの花が見ごろとなっています。太くて長いトゲだらけの枝に、白い花が青空に浮かぶように咲いています。花と同時に新しい黄緑色の新芽も伸びだしています。新芽には、種小名のtrifoliataの通り、3小葉からなる若葉が伸びだしています。このあと緑色の果実をつけ、秋遅くには黄色く熟し落果します。北原白秋の唄のように「カラタチのトゲは痛いよ」ですから、観察の時はご注意ください。



カラタチの花：甘い香りのする  
蜜のある柑橘らしい花



カラタチの枝：冬には落葉し太い  
トゲが目立つようになる



新芽：黄緑色の3小葉の新葉を  
つけた枝が伸びだす



若い果実：緑色のピンポン玉くら  
いの大きさに肥大する(6月)